

2022 年 1 月 28 日

第 18 回 LCA 日本フォーラム表彰において奨励賞を受賞

住友化学は、このたび、飼料添加物 DL-メチオニンの環境貢献を対象として、第 18 回 LCA 日本フォーラム表彰において「奨励賞」を受賞いたしました。当社の受賞は、2014 年度の「LCA 日本フォーラム会長賞」に続く 2 回目となります。

LCA 日本フォーラムは、ライフサイクルアセスメント（LCA）に関わる産業界、学界、国公立研究機関の関係者が集うプラットフォームです。04 年度より、LCA に関わる優れた取り組みを顕彰するため、「製品のライフサイクルから環境負荷削減に取り組む企業、組織、研究者を応援する」ことを目的とした表彰を実施しています。

メチオニンは、動物の体内で合成できない必須アミノ酸の一つで、鶏肉や鶏卵の生産性向上を目的とする飼料添加物です。飼料中のアミノ酸のバランスを整えることで、鶏の排泄物中の窒素分を減らし、温室効果ガス（GHG）である一酸化二窒素（ N_2O ）の排出を削減する効果もあるため、住友化学は「Sumika Sustainable Solutions」※¹に認定して普及を図っています。今回の受賞に際しては、メチオニンの添加による N_2O 削減効果や、大豆をはじめとする飼料原料の栽培に必要な水使用量の削減効果などについて、製品ライフサイクル全体の環境への影響を LIME3※²手法を用いて総合的に分析していることが評価されました。

住友化学は、当社グループについて、GHG 排出量をゼロに近づける「責務」と、製品やソリューションを通じた社会の GHG 削減への「貢献」の両面から、50 年カーボンニュートラル（CN）実現に向けた取り組みを推進しています。その一環として、製品ライフサイクルの環境負荷を可視化する LCA の推進に加え、CN の取り組み指標として重要なカーボンフットプリント（CFP）について独自の計算システムを開発しました。この先、ステークホルダーに対して、当社製品の CFP 評価の積極的な開示に加え、CFP 計算システムの無償提供により、ライフサイクル視点でも社会全体の GHG 削減に貢献していく考えです。

住友化学は、「事業活動を通じて人類社会の発展に貢献する」を经营理念の一つに掲げています。これからも経済価値と社会価値を一体的に創出し、持続的な成長とともに、サステナブルな社会の実現への貢献を目指してまいります。

- ※1 製品のライフサイクル全体の視点で、温暖化対策や環境負荷低減などに貢献する当社グループの製品・技術を複数の外部有識者による検証の上で認定し、その開発や普及を促進する取り組み。21 年 12 月時点で 57 製品・技術を認定
- ※2 グローバルスケールで製品のライフサイクルでの環境影響を評価する LCA 手法の一つ (Life-cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling)

以上